

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 08010010

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	B		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	子育て支援拠点事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担 当 課	8 保育所		
事業主体	雄武町		関 係 課	#N/A		
事業指標	遊びの広場利用者数、親子教室開設数、相談業務数、赤ちゃん訪問件数			#N/A		
事業目標	年間利用者数3,800人、親子教室120回、相談業務50件、訪問件数30件		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	子育てボランティア	関係例規・法令名	有 地域子育て支援拠点事業実施要綱		
			関係個別計画名	有 雄武町子ども・子育て支援事業計画		

		全 体 計 画 事 業 内 容	平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容	
計 画 内 容	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力		育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力 こんにちは赤ちゃん訪問	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力 こんにちは赤ちゃん訪問	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力 こんにちは赤ちゃん訪問	
	事業費(千円)		3,750	750	750	750	750	
計 画 事 業 費	財源内訳		3,750	750	750	750	750	
	国庫支出金							
	道支出金		0					
	地方債		0					
	その他		0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)		3,107	680	621	627	589	
	財源内訳		1,217		627		295	
	国庫支出金						295	
	道支出金		1,890	680	621		294	
	地方債		0					
関 連 事 項	特定財源の名称							
	子育て支援対策事業費補助金	【評価・実績】	(実施内容等) 育児相談(59件) 親子教室120回(利用者数1,832人) 開放日245日(利用者数1,928人) 関係機関との連携事業(健診、子育て講話)、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談(67件) 親子教室126回(利用者数1,974人) 開放日245日(利用者数1,440人) 関係機関との連携事業(健診、子育て講話)、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 育児相談(89件) 親子教室124回(利用者数1,647人) 開放日244日(利用者数1,035人) 赤ちゃん訪問(12件)※内1件養育者支援 関係機関との連携事業、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談(97件) 親子教室126回(利用者数1,417人) 開放日243日(利用者数2,128人) 赤ちゃん訪問(10件)※出生26件 関係機関との連携事業、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談(84件) 親子教室123回(利用者数1541人) 開放日244日(利用者数1,872人) 赤ちゃん訪問(13件)※出生30件 関係機関との連携事業、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	利用者数5,000人、親子教室130回、相談業務50件	利用者数3,800人、親子教室120回、相談業務50件	利用者数3,800人、教室120回、相談50件、訪問30件	利用者数3,800人、教室120回、相談50件、訪問30件	利用者数3,800人、教室120回、相談50件、訪問30件	利用者数3,800人、教室120回、相談50件、訪問30件
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	91%	83%	84%	79%	79%	
		全体達成率	18%	35%	51%	67%	83%	
	備考欄							

事業名	子育て支援拠点事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	大水麻理
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係	八重樫聖子

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て家庭	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	年間利用者数、親子教室開催回数	
【抱える課題やニーズは】	先の見えない子育てに、不安や戸惑いを感じる母達が多い。共感し合える仲間や支援者と交流できる場を求めている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	母達が相互支援、情報交換、助言を受けられる環境により育児不安を解消を目指す。地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、関係機関が連携することで育児支援の充実を図る。	① 年間利用者数	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	親が孤立せず、人とつながりながら前向きに子育てができ、子どもが健やかに育つ。		目標値	3800人
			実績値	3426人
			達成度	90.2%
		② 親子教室開催回数	目標年度	平成29年度
			目標値	120回
			実績値	123回
			達成度	102.5%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	仲よし親子教室、センター開放	親子を対象に、年齢に応じた集団遊びの体験と仲間づくりの場を提供し、家族以外とのふれあいを通じて社会性の成長を促した。毎日支援センターを開放することで、個々の生活リズムとニーズに合わせた気軽な利用ができるよう、親子の居場所づくりを行った。		
	育児相談、連携事業、育児講座	育児、子どもの発達、乳幼児健診や保育に関することなど相談業務を行い、保健事業と連携することで早い段階から存在を認証され、関係機関につなぐことで地域で育児支援を行った。育児講座では乳医大から講師を招いて具体的な子育ての手法【トリプルP】講座を開催し参加者から好評を得た。		
	普及促進活動 赤ちゃん訪問	町広報紙、HPに情報を掲載する他、保健事業に参加して、町内すべての乳幼児、保護者と関わり気軽な利用を促した。保健係と協力することで妊娠中から関わりを持ち、赤ちゃん訪問に同行することで支援センターの存在を示し、その後の利用につなげた。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	認定子ども園は、地域における子育て支援の機能を兼ね備えているものであり、必ず実施しなければならない。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	子育てを孤立させず、親子の交流の場、相談、援助の場として必要である。
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	保育所入所児童が増加及び低年齢化する現状にあっても利用数に大きな減少はなく、乳児の段階からの利用は増えている。多様化する親子の状況に適した交流の場の提供がなされている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	保育所と併設していることから、備品、部品の共有の他、職員間も相互援助、連携をとり効率的に事業が進められている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	子育て支援の拠点として、関係機関と連携を図ることで、町内在住すべての乳幼児家庭を視野に入れ機能しているため、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
親子教室だけでなく、個々の生活リズムに合わせた利用や、保育所入所児の降後の利用も増え、開放日は他者との交流を求める親子の居場所となった。母親たちにとって身近な存在として、育児不安を受容し情報提供しながら相談業務を行った。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
赤ちゃん訪問を行うことで、出産後の早い段階から不安や孤立感を解消する役割を担っている。訪問件数を増やし、早期に保護者との信頼関係を築くことで発達支援、虐待予防等関係機関と連携し、地域ぐるみで育児支援の充実を図る。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 休止 廃止